

ひの 議会だより

No. 148

令和 8 年 8 月

発行/鳥取県日野町議会



日野に生きる

裏表紙につづきます

～原木しいたけ栽培に～

6月定例会(補正予算等)	P2～5
常任委員会報告	P6
一般質問(5名)	P7～9
議会改革アンケートまとめ	P10～11
特集記事「シリーズ・日野に生きる」	P12

省エネ家電導入への支援 人間ドック受診費用を無償化に

(表示額は万円単位としています)



省エネ家電(エアコン)

歳出の主なもの

省エネ家電導入への支援の 継続

250万円

昨年度の事業執行後も問い合わせが相次いでいることから、当面の対策として町単独で支援(補助率1/2、上限額5万円)を継続する。

令和8年度6月定例議会が6月11日から19日までの9日間開催。町長が施政方針に掲げる「子育て・教育」「医療・福祉」「産業振興」「交流の拠点整備」に関する積極的な予算。1億4460万円を追加し、一般会計総額42億7990万円、特別会計、条例改正他、12議案が上程されました。

議会はすべての議案に対し、賛成多数で可決・承認しました。

高齢者等ゴミ出し支援の実 証

83万円

近年、高齢者世帯からの相談が増加していることから、社会福祉協議会と連携し、可燃ゴミのゴミ出し困難世帯(20世帯程度)への支援を行う。令和9年以降の事業展開を見据え、まずは実証事業として実施。

人間ドック受診費用無償化 及び「(仮称)健康フェア」 開催

108万円

受診費用を無償化し、退職後に病院を利用する流れをつくると共に、健康意識の向上や人間ドック・がん検診等の受診率の更なる向上に向けた「(仮称)健康

フェアを初開催。



高齢者はゴミ出しが大変

根雨駅舎の活用や今後の 交流拠点・まちづくりの 検討

386万円

移住定住の推進を担う組織のために、根雨駅舎の一部(キヨスク跡)を改修



根雨駅

し、地域おこし協力隊員を配置する。

中山間地域振興監

248万円

「小さな拠点」設置(現在3拠点)を目指す集落の後押し強化を行う。

日野病院組合への追加負担

5279万円

人件費増加や物価高騰の影響等による経営状況のひっ迫を軽減するために、国が定める基準の範囲内で一般会計から繰り出しを行う。

質 疑

議員 日野病院組合への追加負担は国の基準にそって繰り出しを行うとの説明だが、この繰り出しはどこで定められたものか。

執行部 従来からあったもので、今までは特別交付税から負担金を支出していたものです。





人間ドック無償化(検診車)

創業や商品力向上支援の拡充

650万円

・新規参入や新商品開発商品力向上の取組みを支援する現行制度を拡充。

・起業・新規分野参入支援(補助額を50万円から100万円に引き上げ)

*補助率1/2は現行どおり(商品魅力向上20万円から40万円、新商品開発…50万

円から100万円に引き上げ)

*補助率2/3は現行どおり

・市場調査支援の創設
事業者が行う市場調査への支援(コンサルタント派遣等)に補助率10/10(上限20万円)を追加。

*調査そのもののへの支援とし、事業化を要件としない。

奥日野たたらによるまちづくりの推進 26万円

「ふいご祭」で製作したケラを初めて使用し鍛造した短刀の展示ほか、「伯耆国たたら顕彰会」による関連イベントの開催を支援する。

リバーサイドひの施設・設備修繕

642万円

トイレや浴場目隠し、脱衣所床の改修・修繕。

町道の維持管理

1870万円

・渡線の舗装修繕
・下黒坂線、野田線、野田宮ノ前線の区画線修繕
・黒坂中央橋の道路照明灯取替

一般廃棄物収集運搬業務の委託(令和9年・令和13年)

(債務負担行為設定(限度額2億5000万円))

次期委託を円滑に行うため債務負担行為を設定し入札準備を進めるもの。



ふいご祭でケラ作り

公設塾「まなびや縁側(日野拠点)」講師の新規派遣委託 416万円

非常勤講師一名の派遣を外部委託する。

質疑

議員 派遣講師への報酬4日勤務時給2500円は高額すぎるのではないかと。

執行部 会計年度任用職員報酬を基に委託手数料を加え10カ月分で積算しています。

議員 求める講師が定まらない前に公募では順番が逆ではないか。

執行部 公募では条件者へ仕様書を示して提案いただきます。

不登校児童生徒の教育・相談環境整備

31万円

教室内の整備やそれぞれの児童生徒のあった教材教具を購入する。

特別会計

介護保険特別会計

地域包括支援センターへのケアマネージャーの新規配置 333万円

町内の居宅介護支援事業所(2事業所)に委託してきた「介護予防支援計画」の策定を地域包括支援センターが直営で実施する体制を整備する。



条例改正

日野町健康保険税条例の一部改正

単位:円

	R8年度 所得割	(昨年度)	R8年度 均等割	(昨年度)	R8年度 平等割	(昨年度)
医療給付費分	4.93%	6.98%	18,000	19,400	11,300	12,800
後期高齢者支援金分	2.24%	2.92%	8,200	8,200	5,100	5,300
介護納付金分	2.19%	3.26%	8,400	8,200	3,900	3,900
子ども・子育て支援納付金分	0.24%	0.27%	700	1,180	500	740

*一人当たりの国民健康保険税が令和8年度は平均8万4833円となり、令和7年度9万1398円と比較して6565円の減額となります。

債務負担行為

鳥取県域上下水道料金システム共同化導入事業

(令和8年～令和12年)

限度額3000万円

上下水道料金の算定及び使用者管理システム

債務負担行為とは？

翌年度以降に支出が発生する事業について、あらかじめ議会の承認を得て債務を負う権限を設定する制度です。地方自治体の予算制度における単年度主義の例外として設けられています。

その他

日野町選挙管理委員会の委員及び補充員の選挙

選挙管理委員長から任期満了の通知を受け地方自治法に則り議会で選挙を行いました。

○当選者

選挙管理委員会委員

長谷部 正人 氏

長谷川 弘信 氏

遠藤 公俊 氏

音田 真理子 氏

補充員

①後藤 一則 氏

②加藤 良子 氏

③長尾 民子 氏

④山川 洋介 氏

8名を選出しました。
(任期は令和8年7月1日から4年)

陳情・請願

「地方財政の充実・強化を求める陳情」

令和6月3日受理
総務経済常任委員会へ付託、審査の結果採択としました。

提出者

自治労鳥取県本部

執行委員長

三浦 敏樹

日野町職員労働組合

執行委員長

伊田 達彦

採択理由

全ての住民に身近な地方自治体が担う役割は、社会保障制度子育て施策、災害対策、DX推進、物価高騰対策など年々拡大しており、財源の確保は重要との判断から採択とした。

再生可能エネルギー調査特別委員会

今回、鳥取西部風力発電の事業者から、議会にこれまでの経過説明をしたいとの申し出がありました。

日野町議会では、反対を表明しており、業者の申し出を却下しました。

お詫びと訂正

令和8年2月発行の「議会だより146号」の11ページにおいて、講師氏名と掲載写真に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

(正)渡辺 太樹 氏

(誤)渡辺 大樹 氏

既に日野町ホームページで、「訂正版」として更新しております。



採 決 表

議案番号	令和8年第3回日野町議会定例会議案	小林良泰	小河久人	坪倉敏	中山法貴	梅林智子	金川守仁	松本利秋	安達幸博	竹永明文	採決
第20号	専決処分の承認を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
第21号	専決処分の承認を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
第22号	専決処分の承認を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
第23号	日野町国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第24号	日野町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第25号	鳥取県行政不服審査会共同設置規約の変更に関する協議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第26号	予防接種健康被害調査委員会に係る事務の委託に関する規約を定める協議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第27号	令和8年度日野町一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
第28号	令和8年度日野町介護保険特別会計予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第29号	令和8年度日野町簡易水道事業会計予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第30号	令和8年度日野町下水道事業特別会計予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第31号	令和8年度日野町一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

意見書

地方財政の充実・強化を求める意見書

1. 社会保障の充実、地域活性化、自治体DX、脱炭素化、物価高騰対策、教育の無償化、防災・減災、地域公共交通の再構築など、増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握するとともに、それを支える人件費を重視しつつ、現行の水準にとどまらない、より積極的な地方財源の確保・充実ははかること。

3. 地方交付税の法定率を引き上げるなどし、引き続き臨時財政対策債に頼らない、より自律的な地方財政の確立に取り組むこと。また、地域間の財源偏在性は正にむけては、所得税や偏在性がより小さい消費税を対象に国税から地方税への税源移譲を行うなど、より抜本的な改善を行うこと。（紙面の都合上11項目の内3項目を掲載）

令和8年6月19日提出

鳥取県日野町議会

提出先

内閣総理大臣ほか

2. とりわけ、子育て対策、地域医療の確保、介護や生活困窮者の自立支援など、より高まりつつある社会保障ニーズが自治体の一般行政経費を圧迫していることから、引き続き、地方単独事業分も含めた、十分社会保障経費の拡充をはかること。加えて、これらの分野を支える人材確保にむけた自治体の取り組みを十分に支える財政措置を講じること。



総務経済常任委員会活動報告

6月26日日野町役場にて、日野森林組合との意見交換会を開催致しました。

当日は森林組合より、川上組合長、小谷専務理事、長岡総務部長、神崎

事業部長、また産業振興課より入澤課長、坂口主任、稲田指導員にお越しいただき勉強会となりました。冒頭、川上組合長より「間伐から皆伐への方針が国から出ている。町づくりの中で大いに木材を使って頂きたい」と挨拶があり、続いて小谷専務より、組合の現状、取組みについての詳細な報告があり質疑応答に入りました。

なぜ、間伐(山の手入れ)が進まないか？

- ・スギ材なら8千円で販売できても、搬出コストが1万2000円程度掛かる。補助金で、ようやく所有者に還元できる状態である。
- ・不在所有者の山林は、境界を知る人がいなくなり、施業を進めるネットワークになっっている。森林組合が相談して断る人はいないが、現地確認に時間がかかる。
- ・森林所有者の意向調査があれば作業は進む。地籍調査を早くお願いしたい。

3町の組合割合は協力事業体は



- ・4割が日野町で作業量も同様、組合員から作業依頼があれば実施する。
- ・夏場は日野町で、冬場は伯耆町など通年作業をしている。
- ・業者は多い方が良い。経営を回すには皆伐への舵取りができれば良い。
- ・民間事業者は儲かる山

からするが、森林組合は依頼があれば断れない。その分作業単価は上がる。

どうする過疎の山はバイオマス活用は

- ・所有者は山を手放したい人もいる。貰ってくれと言われても森林組合だけでは面倒みられない。人口も所有者も減っているが環境保全に山の整備は不可欠である。
- ・森林譲与税など行政の補助を受け、森林組合が仕事をして山林所有者に還元する。産業として回していく形を作る。
- ・バイオマス由来の航空燃料(エ

タノール)も可能性はある。
・間伐補助金を江府町は令和8年度の上乗せをしている。日野町もお願いしたい。

日野町の基幹産業である農林業、今回は林業にテーマをあて森林組合と長時間の勉強会となりました。



町内の間伐作業風景



日野町議会 6月定例会

一般質問テーマ

安達 幸博 町の子育て支援拠点の集約・一本化

坪倉 敏 農林業の振興施策

松本 利秋 住民が元気で生きがいを持って暮らしていける町づくり

中山 法貴 ごみ処理施設と高齢者の不安への対応

小河 久人 介護保険と介護事業所の支援

・・・・・・ご案内・・・・・・

チャンネルひので、議会中継がご覧いただけます。

議員名下の二次元コードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、各議員の一般質問動画が視聴できます。

子育て支援



安達 幸博議員



議員 町の子育て支援について、おひさまひろば・しいたん広場・旧旅館を活用した民間活動がそれぞれ存在しているものの、所管が分かれており十分な連携が取れていないと思います。特に、しいたん広場の広さや交流機能に、おひさまひろばの保育士による専門的な相談・支援機能を組み合わせれば、より利便性の高い子育て拠点になるとして、しいたん広場をベースにした拠点の一本化を進めるべきと考えます。見解を伺います。

町長 おひさまひろばは育児相談や子育て支援を行う場であり、しいたん広場は屋内の遊び場・交流の場であるため、両者は機能が異なるため、現時点では統合は考えていません。

議員 利用者から町外者の利用マナーや町外者の利用有料化による町民優遇や移住促進策、施設管理



しいたん広場

責任の不明確さ、屋外利用（テニスコート）の希望、旧旅館の文化価値認識など、利用者からの具体的な意見があります。町長の所見を伺います。また、妊娠から就学時まで一貫した支援を行う子育て世代包括支援センター（ネウボラ）の存在が子育て世帯に十分認知されていないため、PR強化や保健師が定期的におひさまひろばに関わる仕組みやモデル的に保育士がしいたん広場で活動するなど、段階的な連携強化を提案します。

町長 ネウボラについては認知度向上のためPR活動を検討します。しいたん広場について、有料化は町民優遇や移住促進の観点から検討の対象とします。

屋外利用や遊具設置は安全面や管理体制を考慮しつつ検討します。子育て支援は重要な施策です。保育所の在り方、しいたん広場の活用、ネウボラも含め検討します。





坪倉 敏議員



新規就農研修生募集の実情は

議員 地域おこし協力隊員の農業研修生募集と、農林振興公社の強化策進捗について伺います。

町長 地域おこし協力隊員を募集し、育成する、農林振興公社職員を募集して体制強化取組んでいますが、要求に見合った人材確保がうまくいっていない。

議員 新規就農支援事業に、地域おこし協力隊員募集は初めてですか。

課長 令和8年度からの募集です。

議員 これまでシイタケ振興に二人地域おこし協力隊員が来られてますが、定着しなかった理由は、

課長 シイタケ栽培で生活基盤が描けなかった、町もうまく誘導できなかった。

議員 研修生受入れは大変な事業です。担当課や、農林振興公社は研修生の伴奏者を考えていますか。



農業は担い手不足が課題

築しなければいけない。

林業技術者育成と 林業アカデミーについて

議員 林業アカデミーから町の林業事業体に就職されましたか。

課長 今までに1件1名です。

議員 町が地域おこし協力隊員を募集して、林業アカデミーに預け、技術取得して町に来てもらうことはできますか。

課長 将来的な人材育成のため、調整次第では可能ではないか。

議員 町長のトップセールスで10人位連れて来て下さい。

町長 基盤が整備されたら、進んで行きます。挑戦する方を支援します。



松本 利秋議員



住民が元気で生きがいを持って暮らしていける町づくり

議員 人口減少と高齢化の進む日野町。高齢者を対象にした百歳体操は健康づくり、医療費の削減、そして交流で助け合いにも繋がると思います。

昨年の12月議会で、全自治会で取組まれるよう申し上げましたが、その後の実施状況を伺います。

町長 現在実施している自治会は、49自治会中42自治会で、その時より2自治会が増加しました。

未実施の7自治会にも呼びかけているものの、世帯数が少ない、世話人がいない等の事情があり、実施に至っておりません。

議員 百歳体操は毎日ではなく、開催日に役場や社協がお手伝いをされると始められると思います。

行政の積極姿勢ですよ。

町長 まだのところは、健康教室などで対応し、町民の健康維持の取り組みを続けていきます。

議員 「小さな拠点事業」は高齢化の進む日野町にとって大変有効な施策と考えます。現在3地区で取り組まれています。今後の推進を伺います。

町長 この事業は、今議会にも「中山間地域振興監（集落支援員）の追加配置」を提案しており、「小さな拠点」設置を目指す集落の後押しをします。

議員 「リバーサイドひの」が新事業者になりました。まず、町民が利用し、PRすることが大切です。当施設で健康教室や介護予防教室を実施する考えを伺います。

町長 町でも、当施設のPRに努めています。今後も「健康づくり教室」の会場とすることも含め、「リバーサイドひの」の活用を検討していきます。

議員 「フィットネスジム」を本町に設置する考えはありませんか。

町長 実現性について調査します。



百歳体操(小さな拠点/雲海の郷・真住)



広域ごみ処理施設事業の遅れ

議員 鳥取県西部広域行政管理組合で進めているごみ処理施設整備事業ですが、施設の稼働開始が5年遅れ令和19年になると報道がありました。日野町への影響は。

町長 くぬぎの森を稼働延長するか他施設などへごみ処理を委託するか、鳥取県西部広域行政管理組合から検討依頼を受けているところです。

まず、くぬぎの森について黒坂7区自治会へ丁寧の説明することが必要。江府町の意向も踏まえ三町衛生組合で議論していきます。

議員 地元住民への説明が大切です。どの程度されていますか。

課長 4月に公聴会で、5月にも回覧で説明しました。また状況が分かり次第説明していきます。

高齢者の不安への対応



中山 法貴議員



黒坂にあるごみ焼却場くぬぎの森

議員 高齢者の社会的孤立や孤独感を解消するための具体的施策は。

町長 ごみ出し支援の実証、中山間地域新興監の追加、認知症施設推進計画作成、地域包括支援センターへのケアマネージャーの配置を今議会で提案しました。さらにスマートスピーカーの導入促進も図りたいと思っています。

議員 真住公民館のトイレに浄化槽を付けてほしいという要望があります。黒坂小学校跡地のトイレは洋式化など整備してほしいという要望があります。高齢者も多く集まる施設です。地元との話をしていたいただきたいが。

町長 真住公民館は、もし館長からそういう御相談があれば対応したいと思っています。黒坂小学校跡地は、必要な改修は順番を追って検討をしていきたいです。

介護保険事業について

議員 税金の未納があれば「百円でもきちんと収めてください」とお願いするのが行政の立場です。であれば、立場が逆の時、つまり町の方に余裕があるときには、「百円でもきちんとお返します」という姿勢があつてこそ、町民の納得が得られるのではないですか。次期計画において、適正規模から上回る部分について、介護保険料負担の軽減や介護予防施策の充実に活用する考えがあるのかお聞きます。

課長 基金の方は有効活用させていただきたいと思っています。保険料軽減の負担と介護予防事業の充実だと思っています。しっかりと使わせていただければと思います。



小河 久人議員



議員 町長は次の3年間で、「介護保険財政を守る3年間」と考えておられるのか、それとも「全町民参加の介護予防と人材確保を進める3年間」と考えておられるのか、次期計画にける思いを伺います。

町長 介護保険が破綻するのはあり得ない、あつてはならないことであります。介護保険料が負担になったことで、保険が破綻すれば、介護サービスが無くなるわけです。何事もバランスですよね。要介護を減らすというのを取り組んでいます。



「アンケート調査まとめ」

議会改革特別委員会

地方議会議員のなり手不足が社会問題となっている現状をふまえ、町民の皆様にお尋ねしました。
調査方法は、アンケート用紙を郵送での全戸配布と合わせて、日野町ホームページでのデジタル回答を行いました。
皆様から246件のご意見をいただきました。ご協力に感謝申し上げます。

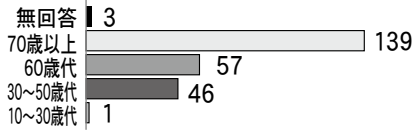
アンケート調査報告

回答総数 246件

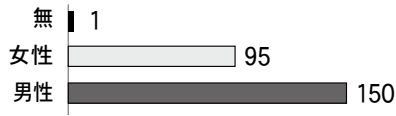
返信封筒回答 177件

デジタル回答 69件

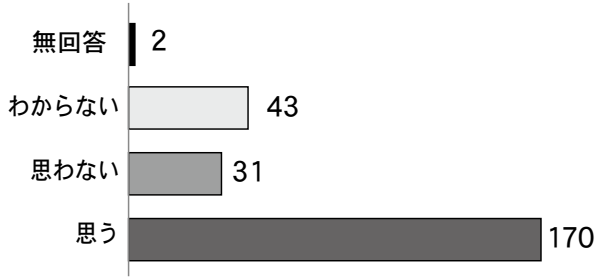
1 年齢別



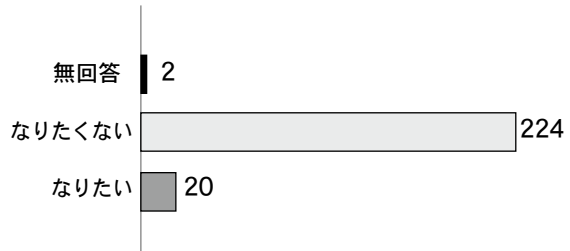
2 性別



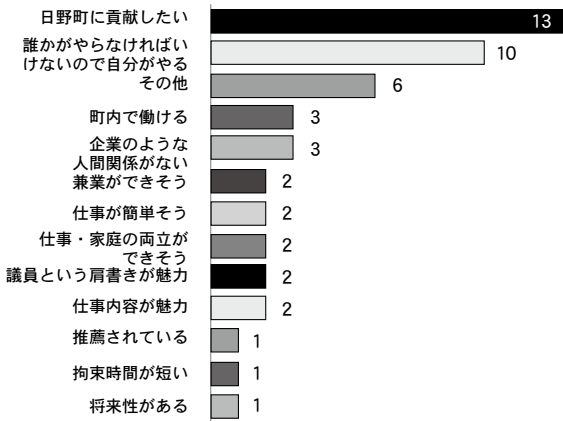
3 日野町議員はなり手不足になると思いますか。



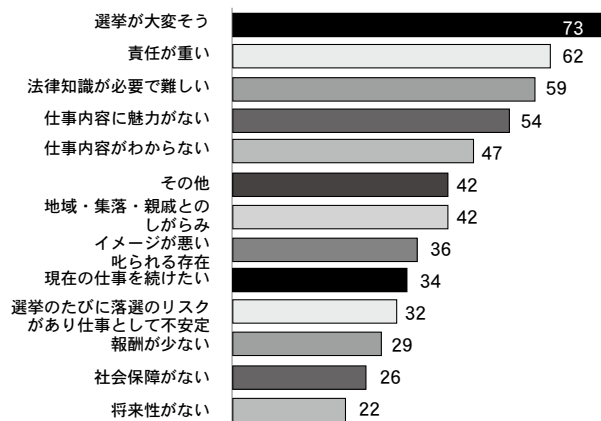
4 議員になりたいと思いますか。



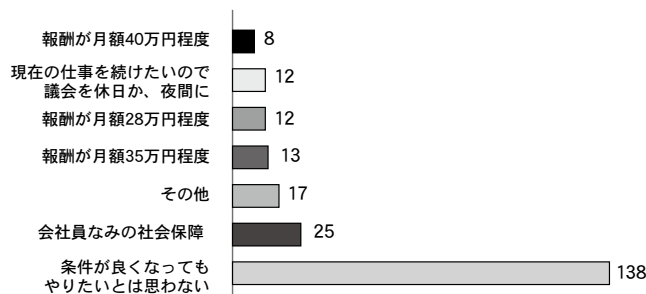
5 なりたいと思った理由



6 なりたくないと思った人に質問です、理由は。



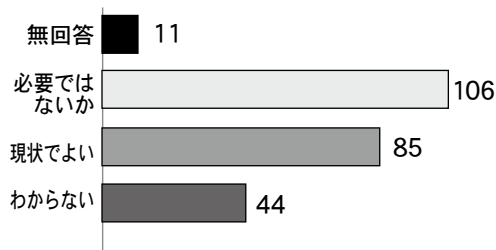
7 問6でこれなら議員をしても良いと思う条件は。



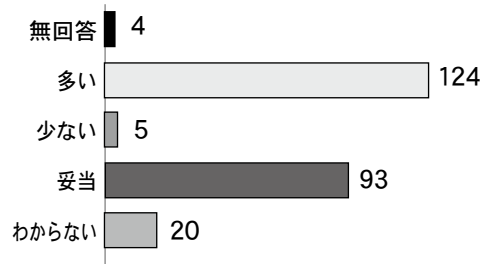
8 議員報酬についてはどう
思いますか。

・高い 63名
・低い 44名
・妥当 96名

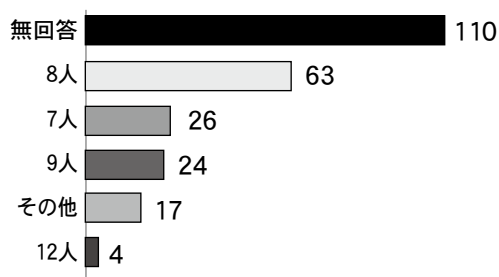
9 現在の議員には社会保
障がありませんがどう思
いますか。



10 議員定数(10人)をどう
思いますか。



11 問10で議員定数につ
いて①多い、②少ないと回答
された方は、妥当だと思う
定数は何人ですか。



議員定数、議員報酬は

現状のまま

今回のアンケートにつき
ましては、自由記載でのご
意見の取り扱いをはじめ、
きびしいご意見・ご指摘と
問題点について、議会で議
論しました。

議員の意見として、

・会社勤めとの兼業は、両
立が難しく、自営業であつ
ても立候補については腰が
重い。

・議員年金制度など、過去
にはあったが制度が廃止さ
れたことも影響しているの
は。

・4年に一回の選挙で社会
的保証はない、リスクが大
きい。

・人事院勧告で報酬につい
ては見直しがなされている
ことも事実である。

・県西部報酬審議会で定め
られているため、報酬を改
定するにはその組織から脱

退し独立しなければなら
ない。
・人口減少に伴う定数減
も議論が必要ではない
か。

結論として

「議員定数と議員報酬」
は相互に深く関連する課
題であることから、一体
的に検討を進めてまいり
ます。

また議会活動について
は、従来の公聴会等の開
催をふまえ議論を深めて
まいります。4年に一度
の選挙によって町民から
選ばれ、町民の代表とし
て負託を受けていること
を改めて強く認識し、議
会改革特別委員会として
は、当面議員定数、報酬
は現状維持とすることに
決定した。





取材記事
シリーズ!

第22回 日野に生きる

～しいたつこと～

廣瀬 俊介さん
(根雨)



しいたつこと廣瀬俊介さん。
原木椎茸栽培に打ち込

んでいます。

普段は物静かな印象ですが、実はキノコ研究者。鳥取大学農学部でキノコの研究に打ち込み、日野町こそ原木椎茸栽培に最も適した場所として、この地に移住しました。

そして奥様との出会い。結婚式では人力車で根雨の町を練り歩いて皆さんを喜ばせてくださいました。あれから早12年。今や2男1女のお父さん。

海も守る椎茸栽培

先人たちから延々と引き継がれてきている椎茸栽培は、実は豊かな海を守る事にもつながっていると言います。

きのこは森のそうじ屋さん。おしどりや動物の餌にもなるどんぐりの木が原木に使われます。広葉樹が山で健全に育っていることできのこの菌類が分解してできる養分「フルボ酸鉄」が雨に溶け日野川を下り海に運ばれ、海の生き物の餌の植物プランクトンを増やす役割をするのです。

次々に原木を育て使うことで森の若返りが図れます。日野の森が海の養分。河川や海中で暮らす、生き物たちの栄養となるのです。日野川の豊かさを、支えていたのは、広葉樹林とキノコだったんですね。

日野学園等でも出前授業を行って、原木椎茸栽培の



干し椎茸の販売も

重要性を積極的に広報されています。学校給食にも出荷していただいています。商工会のイベントではうまみたつぷりの椎茸料理を提供。また、県の事業の環境で台湾へも売り込みを行っておられます。

廣瀬さんの作られた椎茸には、この解説書がついていますので、是非お手にとってご覧下さい。

原木椎茸栽培は、自然の循環を支える大きな知恵だと、廣瀬さんから学びまし

あしがき

郡民体育大会で久々に剣道審判をさせて頂いた。高校時代に始め、社会人になってからも防具担いで武道館へ。武道場は剣の聖地。居並ぶ先生方が余りにまぶしく、稽古の順番待ちでドキドキ。

必死にかかつていても、ひらひらとかわされてしまう。涼しい顔の師範に私はゼイゼイ青息吐息。稽古後、師範の面を我先にほどかせて頂きお礼を伝え、お言葉を授かる。

自分があ頃の師範の年齢にさしかかったのだが、果たして、目指す人格を身に付けられたのか。剣を通じた人格形成の道。まだまだ道半ば。

(梅林 智子 記)

議会広報常任委員会

委員長 小林 良泰
副委員長 小河 久人
委員 松本 利秋
委員 金川 守仁
委員 梅林 智子
委員 坪倉 敏

